



保健環境組合 だより

REPORT No. 13

3

2023 Mar.

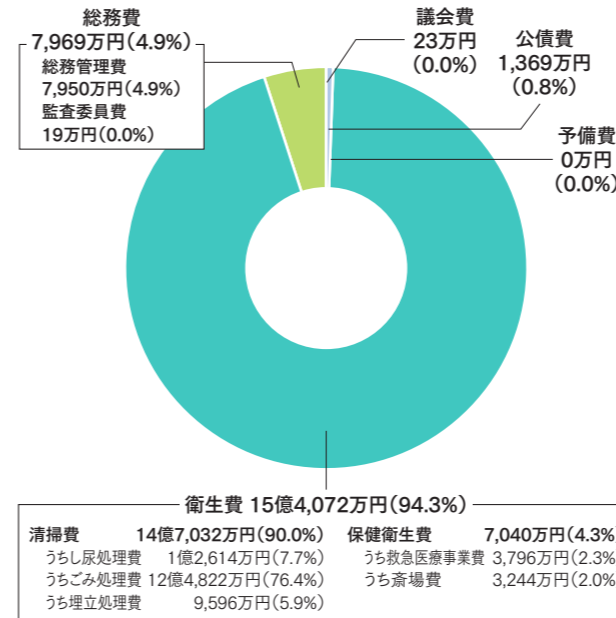


須賀川地方衛生センターごみ処理施設プラットフォーム内

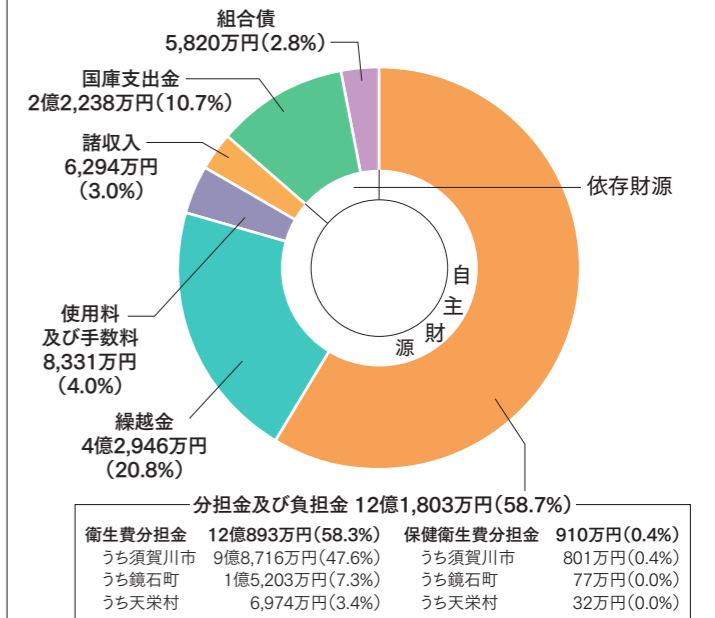
令和3年度須賀川地方保健環境組合決算報告

令和3年度の須賀川地方保健環境組合決算について、以下のとおり報告いたします。

令和3年度歳出 16億3,433万円



令和3年度歳入 20億7,432万円



歳入
内訳の解説

歳出
内訳の解説

分担金	組合各事業を行うにあたり、構成市町村に賦課(税金などを割り当てること)した収入です。
使用料及び手数料	組合各施設を利用いただいた時の使用料や、各証明書の発行手数料です。
国庫支出金	国が資金の使い道を特定して、地方公共団体に交付する支出金です。
国庫補助金	国が特定の事業(循環型社会の形成など)を奨励するために、地方公共団体などに交付する補助金です。
繰入金	ごみ処理施設整備事業のために設置した基金(元手となる預金)からの繰入れです。
繰越金	前年度決算から繰り越された剰余金(残ったお金)です。
諸収入	職員健康診断助成金、鉄くず・古紙類の売却代金などです。
組合債	最終処分場建設事業のために組合が起こした借入金です。
議会費	組合議会運営に用いられた費用です。
総務管理費	職員給与や衛生センターの運営に用いられた費用です。
監査委員費	組合監査委員(組合の財務や事業の監査を行う機関)の運営に用いられた費用です。
清掃費	し尿処理施設、ごみ処理施設、埋立処理施設の管理・運営に用いられた費用です。
保健衛生費	休日夜間急病診療所及び斎場の管理・運営に用いられた費用です。
公債費	公債の償還(返却すること)や利子の支払いに用いられた費用です。
予備費	予見が難しい歳出予算の不足が生じた際に充てられる費用です。

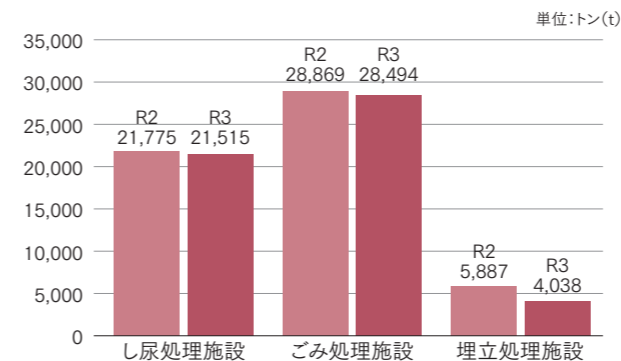
生ごみは水切りしてから捨てましょう

家庭から出る生ごみの約80%が水分といわれていますが、水分を多く含んだままごみに出してしまうと、悪臭が漂い、重くて害虫にも悩まされます。

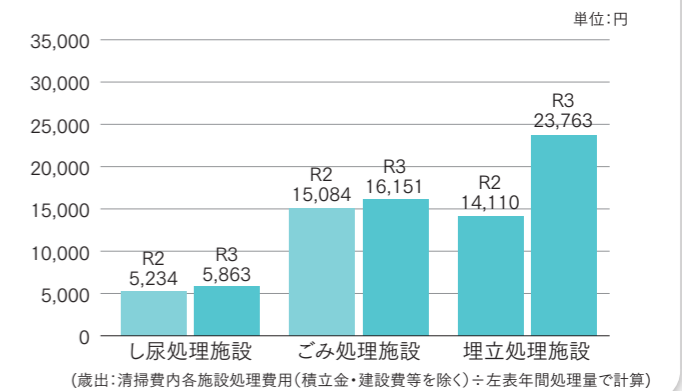
生ごみの水切りをすることで、悪臭の防止・ごみの減量化・ごみ焼却炉の燃焼効率の向上等、環境にも影響してきます。環境に悪影響を及ぼさないためにも、生ごみの水切りの徹底をお願いいたします。



各施設の年間処理量(昨年度と比較)



各施設で1tあたりの処理に使われたお金(昨年度と比較)



引き続き、適正な管理・運営に努めてまいります。



令和2年度 財務書類の公表

平成27年1月に総務省から「統一的な基準」が示されたことにより、平成28年度分から、全国の自治体で、新たな財務書類の作成が進められています。本組合で作成した令和2年度の各財務書類について、以下のとおり公表いたします。

① 貸借対照表

令和2年度末の時点で、組合が保有する資産と、負債・純資産について表したものです。

資産の部	99億1,736万円	負債の部	31億7,983万円
① 固定資産	97億2,682万円	① 固定負債	12億1,006万円
② 流動資産	1億9,054万円	② 流動負債	19億6,977万円
		純資産の部	67億3,753万円
資産合計	99億1,736万円	負債及び純資産合計	99億1,736万円

※固定資産…建物、工作物など、長期にわたり所有・使用する資産
 ※流動資産…現金預金など、短期間(1年以内)で現金に換えられる資産
 ※固定負債…返済が1年を超える負債
 ※流動負債…1年以内に返還または払出が必要な負債

令和2年度の当組合は、資産の部が負債の部を大きく上回っています。負債に頼りすぎることのない財政運営ができたといえます。
 ※構成市町村1人当たりの資産額 105,977円 負債額 33,980円
 構成市町村人口 93,580人(令和3年3月31日時点の住民基本台帳)

③ 純資産変動計算書

貸借対照表内の純資産について、令和2年度中の変動を表します。

① 前年度末純資産残高	73億7,433万円
② 純行政コスト	△17億432万円
③ 財源	10億6,752万円
④ 本年度純資産変動額(②+③)	△6億3,680万円
⑤ その他変動額	0万円
本年度末純資産残高(①+④+⑤)	67億3,753万円

当組合の財源としては、分担金や国庫支出金が挙げられます。令和2年度の当組合では、純行政コストに対して財源が不足する状態でしたが、前年度までの残高により、全額を賄うことができました。

② 行政コスト計算書

令和2年度に、組合の行政サービスで生じたコストについて表したものです。

① 経常費用	14億9,394万円
② 経常収益	1億8,220万円
③ 純経常行政コスト(②-①)	△13億1,174万円
④ 臨時損益	△3億9,258万円
純行政コスト(③+④)	△17億432万円

※経常費用…行政サービスを行うために毎会計年度必要となるコスト
 ※経常収益…行政サービスによって毎会計年度生じる収益

当組合では、経常費用の多くを、各施設の維持補修費、減価償却費などの物件費が、経常収益の多くを、各施設の使用料及び手数料が、それぞれ占めています。
 上記の表は、施設使用料などで回収する金額よりも、施設の維持補修などで支出する金額のほうが多いことを示しています。
 ※構成市町村1人当たりの行政コスト 18,212円

④ 資金収支計算書

令和2年度の収入と支出を明確にするためのものです。年度内に行われた資金の動きがすべて記されています。

① 本年度資金収支額	128万円
② 前年度末資金残高	1億8,774万円
③ 本年度末資金残高(①+②)	1億8,902万円
④ 本年度末歳計外現金残高	152万円
本年度末現金預金残高(③+④)	1億9,054万円

表内の「本年度末資金残高」と「本年度末歳計外現金残高」を合わせることで、会計年度の現金預金残高がわかります。最終的な残高は約2億円のプラスとなりました。

新採用職員を紹介します!



須賀川地方保健環境組合
 総務係 主事
 鈴木 夢叶

令和4年4月に須賀川地方保健環境組合・須賀川地方衛生センターの職員となりました。総務係として、様々な業務をやらせていただいております。なかでも、出納検査や賞与、手当関係などのお金に関する業務はとても重要なので責任をもって、誠心誠意取り組んでいきたいと思っております。
 社会人一年目ということもあり、最初の頃は覚えるこ

とも多く、毎日が大変でしたが、上司や先輩方の助けもあり、日々の業務を行っていくことができました。仕事をやるうえで初めて知る情報が多く、今はまだ知識不足なところもあり、自分自身の課題も残されています。今後も上司や先輩方から様々な知識を吸収し、一つ一つの仕事を確実にこなし、日々、成長していきたいと思っております。

家庭ごみ搬入時の注意事項

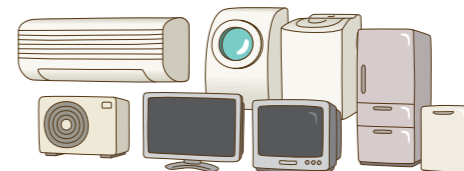
- **基本的には、お近くのごみステーションをご利用ください。**引越し・遺品整理等でごみステーションを利用しても処理しきれなかったごみについては、**前日までの事前予約**によりお受けいたします。
- **可燃ごみと不燃ごみで処分場所が変わりますので、一緒に搬入する場合は、車両から降ろしやすいよう、分けてお持ち込みください。**
- **車両からごみを降ろす際は、トラブル防止のため、ご自分で降ろしていただきますので、あらかじめご了承ください。**
- **プラットホーム内では、ごみピットへの転落や、搬入車両との接触の危険がありますので、係員の案内に従ってください。**

※お持ち込みによっては、お受けできないものや、お受けできないケースがございますので、各市町村のごみカレンダー・分別表をご確認いただくほか、ご不明な点は、お問い合わせください。

組合連絡先 0248-73-4515

市町村で回収しないごみ

家電リサイクル対象となっているもの



販売店に引取依頼をするか、郵便局で「家電リサイクル券」を購入し、ご自身で直接指定引取場所へ運搬してください。

株式会社釜屋 リサイクルセンター
 〒969-0402 岩瀬郡鏡石町成田東9
 ☎0248-92-3877

パソコン機器

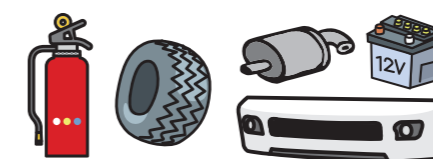


不要になったパソコンは、各メーカーへ電話し、回収を申し込んでください。

事業系ごみ

事業所から排出されたごみは、ごみステーションには出せません。事業系(商店・工場・農業等)で出たごみのうち、書類、生ごみ、段ボール等は一般廃棄物収集運搬許可業者に収集依頼(有料)をするか、衛生センターへ直接搬入してください。施設使用料は、有料になります。(100円/10kg)

処理困難物



自動車部品・タイヤ・農機具・ピアノ・消火器・建設廃材等
 販売店に引き取ってもらうか、処理業者へ依頼してください。

安全かつ円滑に処理処分が行なえるよう、分別にご協力ください。